



アクサ生命、第2回「CR Week」を開催 ～世界のグループ企業が、1週間 CR 活動に取り組む～

日本では、6つの主要ステークホルダー(顧客、従業員、株主、サプライヤー、環境、コミュニティ)に向けて
27のアクションを実施、のべ7,100名の社員が参加

AXA(本社:仏パリ)は6月11日(月)～15日(金)の5日間、コーポレート・レスポンシビリティ(CR:企業の社会的責任)のさらなる推進と浸透を目的として、世界同時イベント「CR Week(コーポレート・レスポンシビリティ・ウィーク)」を開催しました。2回目となる今年はCRがビジネスの一部であることを認識し、社員のコミットメントを促進することを目指しました。

「CR Week」期間中の6月12日、AXAグループは世界同時ウォークイベント、「グローバル・チャレンジ」を実施しました。これは、社員が歩いた(または自転車で走行した)距離1kmにつき1ユーロをAXAグループがNGOに寄付するという社会貢献イベントで、グループ全体で38,500名以上の社員が参加、総計198,098km(約19,800,000円)を達成しました。

日本では「減災」、「環境」、「健康」をテーマに実施し、2,398名の社員が総計7,494kmを歩行または走行しました。換算金額7,494ユーロ(約750,000円)は、日本ユネスコ協会連盟が実施する被災地域の「減災教育プログラム」に寄付されます。

また、アクサ生命では、同期間中に27のアクションを実施、被災地の子どもの現状に関する理解を深めるための日本ユネスコ協会連盟によるセミナー、CRの発想に基づいて商品開発を試みるワークショップ、東北物産品のチャリティ販売、省エネに関する意識向上活動など毎日様々なイベントが実施され、のべ7,100名の社員が参加しました。

アクサ ジャパン ホールディングおよびアクサ生命の代表執行役社長兼 CEO ジャン=ルイ・ローラン・ジョシは次のように述べています。「CR Weekがグループ全体でも、そして日本でも大きな成功を収めたことを嬉しく思う。これらのアクションは社員から自発的に提案があり、実施されたものである。CR Weekを通じて、CRは重要な要素であり、ビジネスを進めていく上での姿勢そのものであるということを実感した。また同時にCRは、AXAに対する信頼を社内外から獲得するための鍵となるものである。」

「社員一人ひとりがCRのアンバサダー(大使)として行動することこそが、真に責任ある企業として、持続可能な成長を実現することにつながると考えている。そして、CRへの取組みを推進し、長期にわたって、お客さまとご家族の健康や資産をお守りし、最も必要とされている時にお客さまをサポートすることができる企業となることを目指していく。」

アクサ生命について

アクサ生命はAXAのメンバーカンパニーとして1994年に設立されました。AXAが世界で培ってきた知識と経験を活かし、200万の個人、2,500の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2011年度には、2,510億円の保険金や年金、給付金をお支払いしています。

AXAについて

AXAは保険および資産運用の分野で世界をリードし、世界各国に1億100万人のお客さまを持つグローバル企業です。国際会計基準に基づく2011年度通期の売上は861億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は39億ユーロ、2011年12月31日時点における運用資産総額は1兆790億ユーロにのびります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場されており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームにて取引されています。また、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。詳細はwww.axa.comをご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～
アクサ生命保険株式会社 広報部
電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964
<http://www.axa.co.jp/life>